

あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌 2015 年夏号 (年 4 回発行)

元気のある病院
元気のある病院



シャンパン考

統括副院長 荒木 一郎

小生が浅ノ川総合病院の副院長を拝命してから6年が過ぎました。近年の人口高齢化による医療福祉予算の急速な増大に伴い、国の年金や医療費等の予算抑制策が鮮明となり、年々厳しくなる医療情勢の変化に対応すべく微力ながら努力してまいりました。最近の日本の状況はアベノミクスの影響で大手企業の好決算が相次ぎ、景気がやや上向いたとはいえ、中小企業は相変わらず青色吐息で株価は官製相場の感が否めません。国外を見ると経済力、軍事力とも完全に中国が台頭し、赤字財政の中、安全保障分野も含めて日本はますます厳しい状況に追い込まれ、いよいよ危うい時代に突入したかと思うのは小生だけでしょうか。

最近ですが、ある場所で今後訪れるであろう苦難試練に打ち勝つことを祈願して、零細メーカーの美味しいシャンパンを飲む機会がありました。シャンパンは仏シャンパーニュ地方で作られる炭酸入りのワインですが、これが食前酒や乾杯の酒だけでなく、魚や肉を問わず、ほとんどの料理とよく合うのです。製造法は複雑で大変なのですが、実は製造業者の多数がブドウ栽培も手がける小さな農家で、家族経営の零細企業です。レコルトンマニピュラン(RM)と言いますが、作り手によっては大手以上に美味しい感動的なシャンパンを作り、値段も良心的です。小さくとも気概を持ち、愛情を込めて懸命に作る努力とチームワークが、素晴らしいシャンパンを生みだすのです。当病院もこのような気概を忘れず、ハードの充実とともに人材等ソフト面の養成を図り、まさに家族経営のようなチームワークで、かかりつけ医と連携して地域の患者さんに愛情ある医療を提供できればと思っています。金沢では、今春の新幹線開業で観光客が増し明るい兆しも見えますが、医療業界においては医療費の国民負担増加、保険料の値上げ、医療費削減のためのベッド数削減やサービス低下等は避けて通れず、厳しい現実が待っています。まさしく危うい時代ですが、幸い今年も春から多数の力ある新任医師が当院に赴任しており心強い限りです。スタッフ一同が、かかりつけ医の皆様、また救急医療にもお役に立てるよう努力してまいりますので、これまでも増して応援よろしくお願い申し上げます。さて、ナポレオンもこよなく愛した美味しいシャンパンで皆様と祝杯をあげる日はやってくるでしょうか。



病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様によりやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

ニキビの原因・治療・ケアについて

皮膚科 医長 島田 由佳

皮膚科領域では、この1〜2年間に新しい治療薬が次々発売されました。治療手段が増え、治療法も進化してきています。今回は、身近な病気である尋常性ざ瘡(ニキビ)に関して、この春に発売された新しい外用薬の情報も含めてご紹介したいと思います。

ニキビの主な原因

- ① 性ホルモンなどの影響によって皮脂分泌が盛んになる。
- ② 古い角質がつまって毛穴をふさぐ。
- ③ 毛穴の中でニキビの原因菌(アクネ菌)が増殖する。



ニキビは、これらの3つが原因となって生じます。



皮脂が毛穴の中にたまってと面皰(コメド)ができます。毛穴の中で過剰に増殖したアクネ菌は炎症を起こす物質をつくります。炎症が起こると、赤く盛り上がって紅色丘疹(赤ニキビ)や、膿がたまった膿疱(黄ニキビ)となります。さらに炎症が拡大して進行すると、毛穴の壁が破壊され、皮下に膿のふくらができて囊肿となったり、硬く盛り上がって硬結ができます。強い炎症の後には、凹凸したニキビ痕(癬痕)を残します。

思春期のニキビは、性ホルモンの働きが活発になり、皮脂の分泌が増加してできますが、20歳以降にできる大人のニキビは、様々な原因が関連して生じることが知られています。

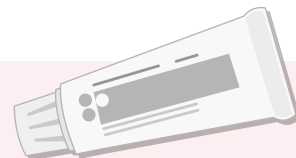
ニキビの治療

症状に応じて適切な治療を行うことが大切です。治療の効果が感じられるまでの期間には個人差がありますが、悪化させてニキビ痕を残さないために、根気強く治療を続けましょう。

毛穴のつまりを除去する薬剤と抗菌作用のある薬剤を組み合わせる使用のが一般的です。

急性期	● 面皰(コメド)が主体のとき：毛穴のつまりを除去する薬剤を使います。 治療薬剤：アダパレン(ぬり薬) ・ 過酸化ベンゾイル(ぬり薬) ● 紅色丘疹・膿疱が主体のとき：アクネ菌の増殖を抑える薬剤や炎症を抑える薬剤を使います。 治療薬剤：抗菌薬(ぬり薬、のみ薬) ・ アダパレン(ぬり薬) ・ 過酸化ベンゾイル(ぬり薬)
寛解維持期	● 毛穴のつまりを除去する薬剤を継続します。 治療薬剤：アダパレン(ぬり薬) ・ 過酸化ベンゾイル(ぬり薬)

過酸化ベンゾイルは、これまで海外では広く標準的に使用されていたニキビ治療薬です。この春、新しいニキビ治療剤のひとつとして、日本でも使用が認められました。適切に使うことで、毛穴のつまりをなくし、ニキビのできにくい肌を長く維持することが期待されます。



ニキビ肌のスキンケア

メイク落とし(クレンジング)

メイクによる毛穴のつまりはニキビの悪化の原因になります。力を加えずに指を軽く滑らせ、円を描くようにして、クレンジング剤とメイクをなじませます。その後、やさしく洗い流しましょう。

洗顔

洗顔によって、余分な皮脂や汚れ、毛穴をふさぐ角質を落とします。1日2回が基本です。朝は眠っている間にたまった余分な皮脂を落とし、夜は汗やホコリなどの汚れを落とすために洗います。洗顔料をしっかりと泡立て、やさしく洗いましょう。

保湿

大人のニキビでは、角質の保湿機能が低下し、乾燥しやすくなっている場合があります。化粧水を手のひらにとり、顔をやさしく押さえるようにして水分を肌になじませます。化粧水の後に、保湿効果の高いノンコメドジェニック*な美容液や乳液、保湿薬を塗布します。

※ノンコメドジェニックとは・・・ニキビができてにくいことを確認している化粧品

ニキビを悪化させないライフスタイル

- ・ 1日3回の規則正しい食生活を心がけ、間食は控えましょう。ビタミンや食物繊維が豊富な緑黄色野菜を摂取し、脂肪分を多く含む食品などは控えめに。
- ・ 毎日の入浴・シャワーで肌を清潔に保ちましょう。ニキビは胸や背中にもでることがあります。リンスやトリートメントが首元や背中に残らないように、洗髪後に顔や体を洗いましょう。
- ・ 十分な睡眠をとり、趣味や適度な運動、自分なりのリラックス法でストレスのない生活を送りましょう。



当科では、日本皮膚科学会の診療ガイドラインに沿った様々な治療を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市千木町の『松下内科胃腸科クリニック』をご紹介します。

父が、千坂小学校の前で48年前に松下医院を開業して以来、建て替えはしたものの、同じ場所で地域医療に従事させていただいておりましたが、その父が今年1月に亡くなり、今は私一人で診療にあたっております。

私は、昭和61年に金沢医科大学を卒業後、同院の消化器外科に入局しました。長年手術に携わってきましたが、市内の病院で内視鏡の勉強をしたあと、平成15年に自宅に戻り、現在は地域の生活習慣病等を診させていただきながら、専門の胃、大腸カメラを行っております。

浅ノ川総合病院、各科の先生、スタッフの方々には父の代からお世話になり、高度な医療や緊急性を必要とされる患者様を快く引き受けていただき、また丁寧に御指導いただき、本当に感謝しております。

今後ともご迷惑をおかけするかも知れませんが、よろしくお願いいたします。



まつした まさひろ
〔 院 長 松下 昌弘 先生 〕

松下内科胃腸科クリニック

院 長：松下 昌弘

診療科：内科、胃腸内科、内視鏡内科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/
14:00～18:00	○	○	/	○	○	/	/

休診日：水曜午後、土曜午後、日曜、祝日



住 所：〒920-0002

石川県金沢市千木 1 丁目 245

電 話：076-258-2020

駐車場：あり



連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

ペットボトル症候群にご用心！

暑さが厳しい季節になってきました。気温の高い日に外に出ると、汗をかきます。そんな時、冷えた清涼飲料水は口当たりがよく、つい飲みすぎてしまいがちです。しかし、多量の糖質を含む清涼飲料水を飲み過ぎると「ペットボトル症候群」を引き起こす場合があるので注意が必要です。



？「ペットボトル症候群」とは？

糖を多く含む清涼飲料水(ソフトドリンク)を大量に飲むことで高血糖になり、そのために喉が渇いてまた清涼飲料水を飲むという行為を繰り返し、著しい高血糖に至るというものです。清涼飲料水を水代わりに、1日に2～3リットル飲む生活をしていた高校生が意識障害で病院に運ばれたことがニュースになり、「ペットボトル症候群」は社会問題として注目されるようになりました。

清涼飲料水に含まれている炭水化物の多くは糖類で、体内への吸収が早い果糖などの単糖類がほとんどです。市販されている清涼飲料水の多くに、1ボトル当り15グラムから30グラムの糖が含まれています。1.5リットルのペットボトルの場合は60～130グラムで、これはグラニュー糖の6グラム入りスティックで10本以上に相当します。喉が渇いたときは、水やお茶で水分補給を心がけましょう。

部門紹介：総務部(広報室)

病院の総務部にはいくつかのセクションがありますが、今回は広報室を紹介したいと思います。

広報室の仕事はいろいろありますが、当院の診療内容やその他のイベントに関して、院外にむけてアピールし、集患することが大きな目的です。

あさのちゃんも広報部長として、リレーマラソンや健康フェアで病院の知名度を上げるためにがんばっています。病院職員一人ひとりが浅ノ川総合病院の広報マンとして病院の紹介ができるように、これからもサポート等させていただきます!!みなさんからの、いろいろな情報もお待ちしています!!

広報室の主な仕事

- その一 院内・院外行事の運営、撮影
- その二 広報誌の作成
- その三 ホームページの作成、管理
- その四 取材などの対応
- その五 院外に向けてのPR活動
(あさのちゃん出動) などなど...



金沢駅で北陸新幹線と
コラボレーションしました！

予告!!

あなたもあさのちゃんと一緒に
金沢マラソン2015を応援しませんか？

2015年11月15日(日)に行われる金沢マラソンのコースに当院前の国道が予定されています。
あさのちゃんと一緒に、ランナーの皆さんを応援しましょう!!



「第6回日本放射線外科学会」開催

平成27年5月30日(土)石川県立音楽堂邦楽ホールにて「第6回日本放射線外科学会」が開催されました。当院脳神経外科部長の光田幸彦医師が第6回会長を務め、多数の参加を賜り、盛況な会となりました。

一般演題では「良性腫瘍」「脳動静脈奇形」「転移性脳腫瘍」「体幹部・頭頸部腫瘍」「精度管理・初期経験・症例報告」をテーマに24演題、教育セミナーでは「技術」をテーマに4演題が発表されました。

ランチョンセミナーでは当院脳神経外科部長の光田幸彦医師が座長を務め、厚生連高岡病院がんセンター長の高仲強医師から「高精度放射線治療における画像誘導放射線治療(IGRT)の役割」についてご講演いただきました。

特別講演では当院の大西寛明病院長が座長を務め、当院PETセンター長の東光太郎医師が「放射線治療におけるPET-CTの役割：その利点と問題点」について講演し、参加者とも議論を交わしました。

今後も当院は放射線外科の充実と発展に努めてまいります。



光田 幸彦 医師



東 光太郎 医師



光田 幸彦 医師



大西 洋 医師



「第7回定位放射線治療セミナー」開催

第7回目となる定位放射線治療セミナーを平成27年6月5日(金)にホテル金沢で開催いたしました。北陸・甲信越から多数の参加を賜り、盛況な会となりました。

基調講演では当院脳神経外科部長の光田幸彦医師が「Novalis Shaped Beam Radiosurgery 10年間の臨床経験」について講演しました。

特別講演では山梨大学医学部放射線医学講座(放射線科)教授の大西洋医師により「放射線治療の発展にける思い～あるべき放射線治療のリテラシー～」について講演され、放射線治療のメリットや山梨大学オリジナルの照射法、放射線治療の現状と未来について話されました。

講演会終了後には情報交換会が開催され、参加者同士親睦を深めました。

今後も当院は定位放射線治療の充実と連携を推進していきます。

恒例の「春の健康フェア」を開催しました！

平成27年5月1日（金）・2日（土）、恒例の「春の健康フェア」を当院で開催しました。

骨密度、血糖値などを無料で測定する健康チェックには、170名を超える方に参加していただき、大好評に終わりました。看護師、管理栄養士などによる健康相談や栄養指導では、日頃の生活習慣や食事などについて、熱心に聞かれる来場者の姿が多く見受けられました。

公開健康講座では、内科 織田医師による「糖尿病ってどんな病気？」と題した講演会を行いました。来場者からは“これからの日々の生活に役立てたい、とっても勉強になりました”等のコメントをいただきました。

当院ではこのような行事を通じて地域の皆様と交流し、「あさのちゃん」共々愛され、信頼される病院を目指していききたいと思います。

今後とも、みなさまのご来場をお待ちしております。



今年も第14回「利家とまつ」 金沢城リレーマラソンに参加しました！

平成27年5月10日（日）、晴天に恵まれた金沢城公園において、第14回「利家とまつ」金沢城リレーマラソンが行われました。

当院からは全7チームが参加しました。職員は日頃からチーム医療を心がけており、お揃いの“あさのちゃんTシャツ”等を今年も身にまとい、タスキをつなげて完走したことで、その絆がさらに深まった一日となりました。今年も、当院の‘広報部長’ あさのちゃんが応援にかけつけ、選手を激励しました。小さなお子さんやマラソン参加者から“あさのちゃ〜ん”と声をかけられ、人気を再認識させていただきました。当院ではこれからも職員が一丸となれる行事に参加することで、チーム医療の充実と、大西病院長を中心に今年も病院のテーマである「元気のある病院・元気のでる病院」を目指していきます。



第21回浅ノ川グループ関連施設 ソフトボール・小運動会が開催されました。

平成27年6月7日（日）、今年で21回目となる浅ノ川グループとその関連施設によるソフトボール・小運動会が開催されました。会当日は天候が心配されましたが、快晴に恵まれ、合わせて13の医療機関や施設が参加し、当院からは小市理事長を始め、多くの職員が参加しました。

当院ではこのような行事を通じて、多職種の職員同士の交流、さらにグループ病院とその関連施設との交流を深め、チーム医療や地域医療をより強固なものにしていきたいと考えております。



第9回相談員・ケアマネ合同研修会



善田 貴裕 医師



医療福祉相談室では、日頃からお世話になっている施設の相談員様やケアマネジャー様との合同研修会として、「医師による医学講座」を開催しております。

当院の医師が交代で講師をつとめるこの講座は、おかげさまで多くの皆さまからご好評をいただいております。

第9回は6月18日(木)に、善田貴裕内科部長による「検診は、結果をもたらした後からが大事なんです!」をテーマに開催しました。今回も130名を超えるご参加をいただき、会場に入りきらないほどの大盛況となりました。

講座内容は日常の業務にも関連が深く、参加者の方々からは「先生の話が直接聞けてうれしい」「分かりやすかった」といったお言葉をたくさんいただいております。

今後も地域の皆様と顔の見える連携が深められるよう、この研修会を定期的に開催していきたいと思っております。

当院の看護師が

千坂小学校のやまなみ学級へ出前講演に行ってきました!

Mini
KidZania

6月21日(日)に金沢市の千坂小学校で「あつまれ!小さな看護師さん」と題した行事がありました。千坂小学校の育友会が主催されている「やまなみ学級」の一環として、大人の仕事を体験してもらうことが目的とされており、当院としてはこのような「ミニキッズニア」に看護師体験を目的として参加したのはこれで2回目になります。

当日は千坂小学校の1年生から6年生の児童、親御さんなどを含めて約60人の参加があり、4つのグループに分かれて「手洗い実践」「聴診器」「注射と包帯」「車椅子介助」を当院看護師の指導の下、体験してもらいました。

児童たちは真剣に看護師の話を聞き、慣れない作業に戸惑いながらも、簡易的なナースキャップを被ることで、目をキラキラにさせて、小さな看護師さんらしく得意げに行動していたのがとても印象的でした。





当院の産科センターで生まれた赤ちゃんを紹介します

4月

今年4月に誕生した赤ちゃんです



5月

今年5月に誕生した赤ちゃんです



ベビーマッサージ

1ヶ月健診時に
ベビーマッサージを
ご案内しています

隔月で開催しています。

5月22日は4組のママと赤ちゃんが
参加してくれましたよ！



※写真は当院で生まれた赤ちゃんであり、ご家族の承諾を得た方のみ掲載しています。

編集 後記



キャッチコピーというのは人の心を一瞬にしてとらえる魔法の言葉です。

『金沢に来るなら、春か夏か秋か冬がいいと思います。』

ご存知の方も多いと思いますが、これは、第63回日本観光ポスターコンクールで国土交通大臣賞を受賞した観光ポスターを引用し、金沢駅東口に掲げてあるタペストリーです。

今回の『あさのちゃんねる』は、この春に行われた行事レポートが多く掲載されており、当院の職員が病院内外の様々な行事に参加し、浅ノ川総合病院の知名度を上げるのに活躍した証になっているはずですよ。

『そうだ、浅ノ川に行こう！』というキャッチコピーはどこにも掲示できるものではありませんが、皆さんが困った時に『ピン』とくるものがあれば、それは日頃の努力のたまものでもあります。もしくは、とてつもない印象(もちろん良い印象ですが)を残しておく、病気になった以外でも何かお声がかかるといいかもしれません。

『そうだ、あさのちゃんを呼ぼう！』そうなるためにも、日々、私、あさのちゃんは努力するのであります。例えば、盆踊り大会とか……。その日のために、踊れるあさのちゃんを目指します！

問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101 (代) メールアドレス: kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp